

わがまち

す

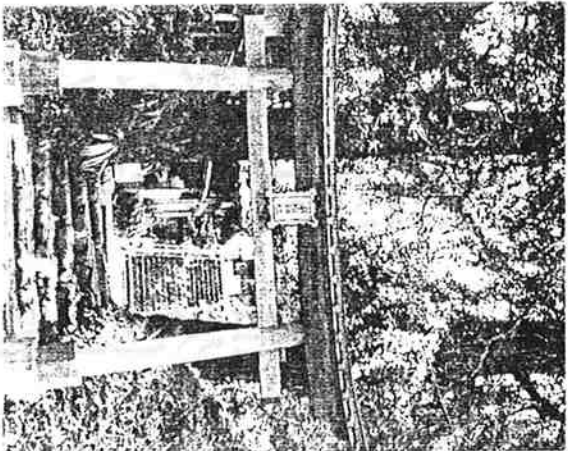
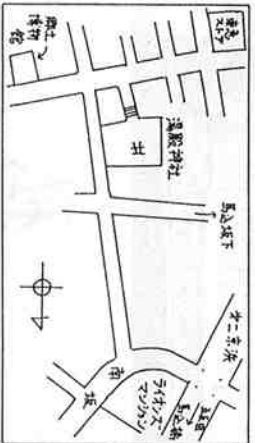
い

ぬ

発行 わがまち大田馬込地区推進委員会
事務局 馬 込 特 別 出 張 所

大田区中馬込 3-25-5

☎ (3774) 3301 (代)



馬込の散歩道

その一

わがまち馬込は、数十年の間にすっかり様変わりをしてしまいました。昔は「菜の花畑に入日っすれ……」の歌そのままの田園地帯でした。が、第二京浜国道が通り、新幹線が走り、浅草から銀座經由の地下鉄の馬込駅、西馬込駅が出来ると、急にベッドタウンとして発展して来ました。それでも馬込は九十九谷と言われるように、起伏が多く、今でもこんもりとした木々が、あちこちに見られます。失われないうちに、馬込の散歩道を尋ねてみたいと思います。

湯殿神社

第一京浜国道、馬込坂下のバス停から南坂を少し登ると、右へ曲る細い道があります。

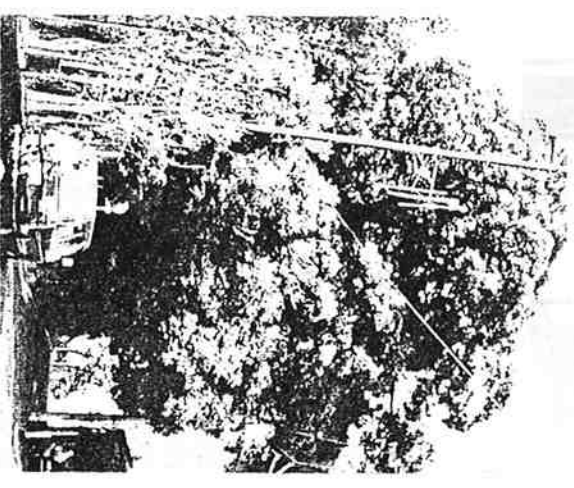
起伏に富んだこの道は、つい最近まで木々に囲まれた自然の残った馬込の散歩道でした。が、坂を下り切った右手は、いつの間にか広い駐車場に変わっていました。

その他散在する旧家も、新築されたり、大金石の塀などで囲われた木々は、手入れが行きとどいて、様変わりしていました。

道なりに坂を登り切ると、右手のがけの上に大きな木が見えて来ます。湯殿神社の椎の木と、どんぐりの木です。それはみごと、にこんもりと茂り、枝は道の上を横切っています。左側までたっしています。道なりに坂を下り、四つ角を右にまがるど、マシヨンのはずれに湯殿神社への入口があります。

湯殿神社が建てられた年代は明らかではありませんが、馬込根古谷のヤト宮で、山形県の羽黒山、月山、湯殿山の出羽三山の一社を祭った社だったそう、江戸時代は羽黒権現とよばれていました。

昔はもともと広かった参道を進むと、鳥居の右手には大田区の保護樹となった、ひと抱えほどのけやきの木が立ち、根元には宝暦十二年に根古谷講中の建てた庚申塔と、お地藏様がまつられています。この庚申塔の三猿は、自由な姿で彫られているのが特長です。また、金剛像にふみつけられている邪鬼もおもしろい表情をしています。鳥居をくぐると西脇



に樹齡三百年の大いちょうがあります。これも大田区の保護樹になっており、神社に向かい右の高い方が雄、左が雌の木だそうです。

春には新芽が芽生え、初夏には新緑、秋にはみごとに黄色く色づきます。正面の階段を上り、左右にこま犬を見て拝殿に進みます。多くの人が通り抜けて行きませんが、ここまで上って来る人は少ないのでは

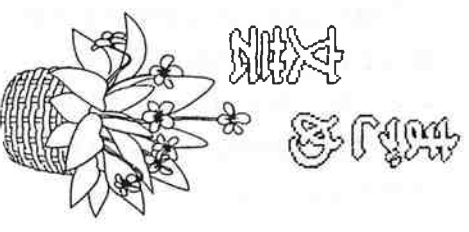
ないでしょうか。拝殿の裏の方には、階段の上に奥の院があります。左手の方には小さなおなりさん。

拝殿のある場所は、それほど広い場所ではないのですが、こんもりと常緑樹の大木にかこまれた別天地です。道路沿いの椎やどんぐりの大木もこの中の一つで、がけには木々の根がからみ合って姿を見せています。

黒土の上には木もれ日がちろちろ降りそそぎ、季節によって、ひよ鳥や、インコ、セキシイ、シジュウカラ、メジロ等の鳥の姿を見ることが出来ます。

現在でもヤトの方々が交代で、一日、十五日にお祀^{まつり}をしているそうで、今でも村の鎮守様のたすまいを残しています。

次回は郷土博物館の近辺を取り上げたいと思います。皆様の近くに良い所があります。したら、ぜひお知らせください。



俳句

庭一面咲きて香らす花すみれ

宇新明歌子

杉の花気になりつつや坂の道

池田 豊子

さわらびの一品添えて夕なごむ

西堀 愛美

流し雛川原伝いに消える迄

中野 清子

土筆出てどこそこあそこの光

近藤 実

移り住み紙門松を飾りけり

元梅田小教頭 小林 敏夫

詩

馬込を歩いていたら

白いお茶の花を

見つけました

元馬込中学校長 高橋 勇

短歌

雨上がり俄に延びし荒草を

引く指先にねざり花見ゆ

大塚 ちよ

川越にやがて響くか「時の鐘」

鐘楼守りは秒よみはじむ

篠原 道子

鶯の声は整ふ谷あひを

おもむろにしも鳴き移りゆく

川上 一眞

柳

課題「早寝、早起き」

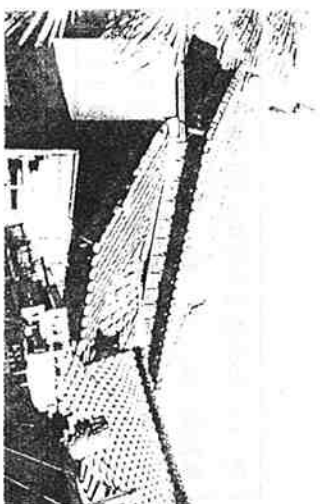
川柳遊芳会

○早起きが三日続かぬ寒のうち

○発表会暗いうちから眼を覚ます

○佗び住まい暖房節約早寝する

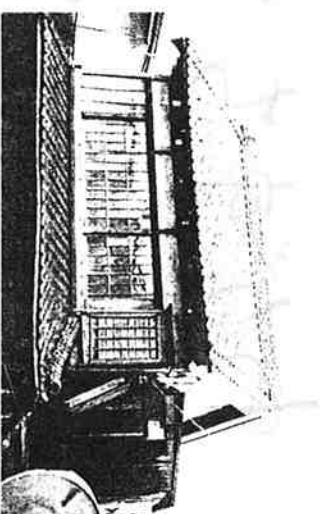
○はやばやと寝たら風邪かと卵酒



私も元気
いた頃、
みにして
のを楽し
酒を飲む
に、濁
をさかな
でオデン
崎屋さん
近くの山
私の店や
たちが、
の長邊寺の門前市に集まっていた村人

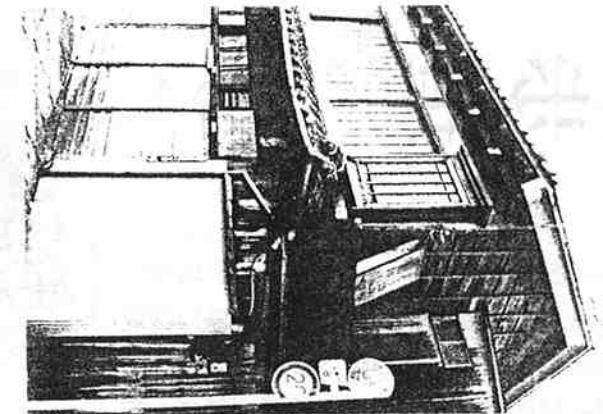
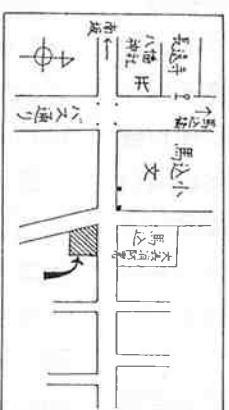
昭和の初めまで続いていた馬込
ち込んでしまいました。
の瓦屋根の一部が、どさりと落
なのです。先日、遂に裏の母屋
もう一人で立っているのがやつと
ます。でも八十才を過ぎた私は、
私の名は『久保屋酒店』とい
あります。それが私なのです。
がらの店構えを残している商家が
そんななかで、かろうじて昔な
てしまいました。

間たちは、つきつぎと建て替えら
れて、今ではコングレニ風に変わっ
てしまいました。
は屋、風呂屋など、馬込の私の仲
かけて建てられた米屋、酒屋、そ
ら昭和に
大正か



私は馬込の久保屋です 助けて下さい!!

(旧久保屋酒店)



なものでした。
申しおくれましたが、私の建っ
ている所は、馬込小学校の桜門の
すぐ前です。
このあたりは、かつての馬込の
中心で、馬込総鎮守の八幡様をは
じめ、村(町)役場、郵便局、消
防組、交番などがあつた所です。
私は間口五間(約九米)の総
瓦ぶきの二階建て、太い大黒柱
や、大きな「梁」のある立派な店
構えの酒屋でした。
酒のほか炭や薪、小学校の教科
書も商っていました。
国語の本は「ハナハト。アメン
ス。」から「サイタサイタ、サク
ラガサイタ。ススススス、ヘイ
タイススス。」の時代です。
店構えも立派ですが、特に道路
に面した二階のガラス障子のガラ
スは、現在のガラス
と違って手作りのた
めに、表面が凸凹で
ところどころに気泡
の入った、大正カラ
スと呼ばれているも
のです。
今となっては、た
いへん珍しい貴重な
ものとなりました。

元の声もあるようです。
どうか私を助けてください!!
お願いいたします。
お願
に面した二階のガラス障子のガラ
タイススス。」の時代です。
店構えも立派ですが、特に道路
に面した二階のガラス障子のガラ
スは、現在のガラス
と違って手作りのた
めに、表面が凸凹で
ところどころに気泡
の入った、大正カラ
スと呼ばれているも
のです。
今となっては、た
いへん珍しい貴重な
ものとなりました。

しかし私は、色々な事情があつ
て二十年ほど前に廃業しました。
その後ずっと空家です。
大きな店構えも、長らく空家に
していたために、あつちこちの
傷みが目立ってきました。
やつと立っているのが精いっぱ
いです。
早く手当をしないと、馬込の数
少なくなつた大正時代の商家がま
た消え去る運命です。
私(久保屋)を、大正時代の商
家に復元して、最近多くなつた、
馬込文士村を散策する人々の
休憩所として、または、地域
のお年寄りの集会所などに利用し
たり出来ないものかなあとの、地
元の声もあるようです。

春の火災予防運動

三月一日からはじまります。火
災原因の多くは、たばこの不始末
の二倍半が放火による火災です。
家の廻りを明るく、燃えやすい物
を置かないようにしましょう。

◎第六回馬込文士村大桜まつり
日時：4月6日(土)12時半～4時半
雨天：7日(日)

会場：桜並木通り、桜並木公園
◎馬込文化センターまつり
日時：3月2日(土)、3日(日)

展示会や交流会、模擬店等。
◎子どもガリテンパーティー
主催：同、実行委員会
日時：4月28日(日)10時～3時

場所：池上本門寺公園
雨天：大森第四中学校体育館

馬込情報

第五回区民親善訪問団渡米

大田区とアメリカ、マサチュー
セツ州のセーラム市との姉妹都
市の提携以来、友好親善を深める
ための区民訪問団が派遣されてい
ますが、昨年10月24日～11月3日
に、五回目の親善訪問団が渡米し
ました。今回は西野区長も同行、
セーラム市を表敬訪問し、セーラ
ム高校の図書館を借りての日本の
文化の紹介行事が行われました。
かつて大田区に来たことのある
同校の先生が仲立ちとなって、茶
道・書道・折り紙の三つの催しが
セーラム高校の授業の一環として
行われました。
馬込からお嬢さんといっしょに
(約33万円)参加しています。

編集後記

『馬込バカの会』といっくんな
名前の会を作ることとしている人々
がいるそうです。
ね金、ね金の世の中で「金もい
らない名もいらぬ、私しや子供が
大好きだ」という仲間たちです。
せっかくの日曜日に手弁当で、
球技や剣道などを子供たちに教え
ている人々です。
だりしている人々たちです。
それも一年や二年ではなく、五
年、十年と続けているのです。
一銭にもならないボランティア
のこれ等の人々は全く『バカ』な
人々です。でもこの人々が、馬込
の子供たちを支えているのです。
『馬込バカの会』ベンサイ!!